

談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和元年（2019年）12月23日（月）

自信と謙虚さ 春から教師に

大学生 清水遼河^{りょうが} 21

第1志望だった自治体の
教員採用試験に合格でき
た。だが、合格までの道の
りは厳しく、激しかった。

まず自己分析をした。自
分のどこが教員に向いて、
適性は何なのかと。

ボランティアなどで、昔
から年下の子供たちとかか
わる機会が多く、一人一人
の個性や表情の変化を見抜
く力がついたと思う。

この観察力を生かして、
授業中の児童や生徒の状態
を素早く察知し、質の高い
授業を行いたい。

このような自己分析を、
面接官にいか伝えるのか
を考え、何十日も何十時間
も練習に励んだ。もちろん
学科の苦手分野にも懸命に
取り組んだ。

「面接は運」とよく言わ
れる。だが、そうは思わな
い。これまで自分の歩ん
できた人生に自信を持って、
発言すれば、必ず伝わる。

「合格できた」という
れしさと、「まだまだこれ
から」という謙虚な姿勢で
来春、教師になる。

（大阪府交野市）

※無断転載不可